

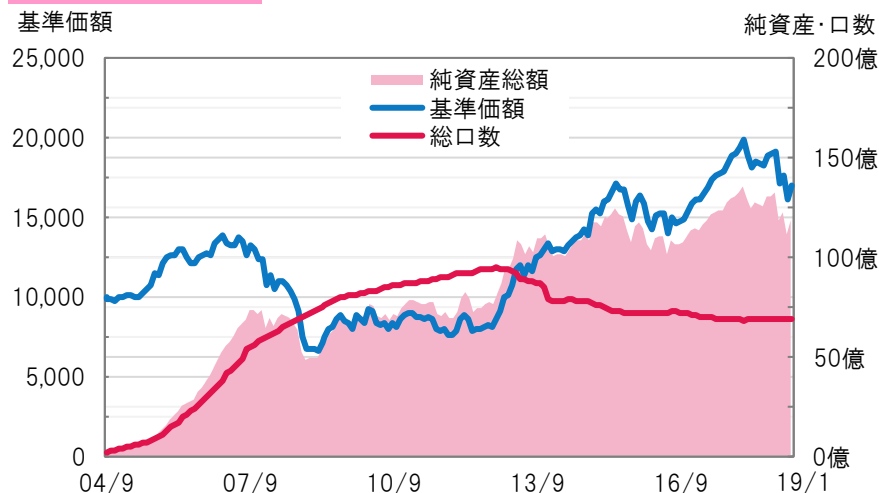
2019
2月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第174号②【基準日 2019年1月31日】



◆基準価額の推移



◆ファンドの情報

基準価額	17,014円
純資産総額	118億27百万円
口座数	4,791
積立割合	53.1%

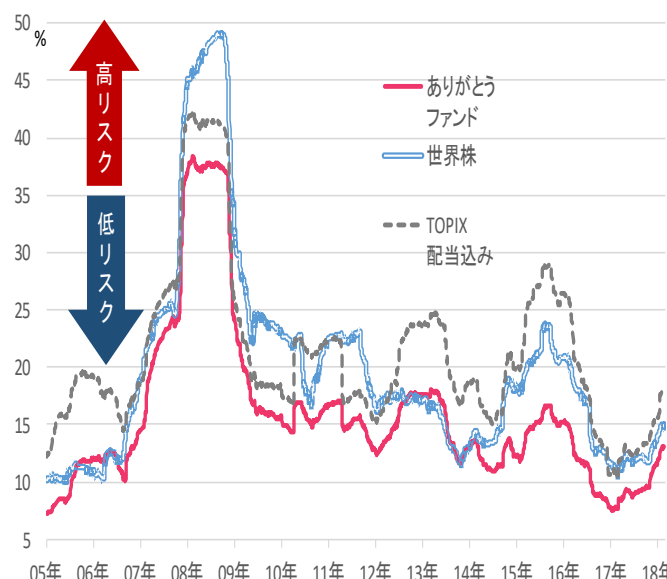


◆ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利
ありがとうファンド	+5.5%	▲1.0%	▲10.2%	▲14.5%	+15.2%	+32.1%	+70.1%	3.76%
世界株 (MSCI ACWI, 円)	+7.1%	▲1.7%	▲7.1%	▲7.3%	+27.1%	+51.8%	+181.6%	7.45%
TOPIX配当込み	+4.9%	▲4.6%	▲9.7%	▲12.8%	+16.8%	+42.5%	+80.5%	4.18%

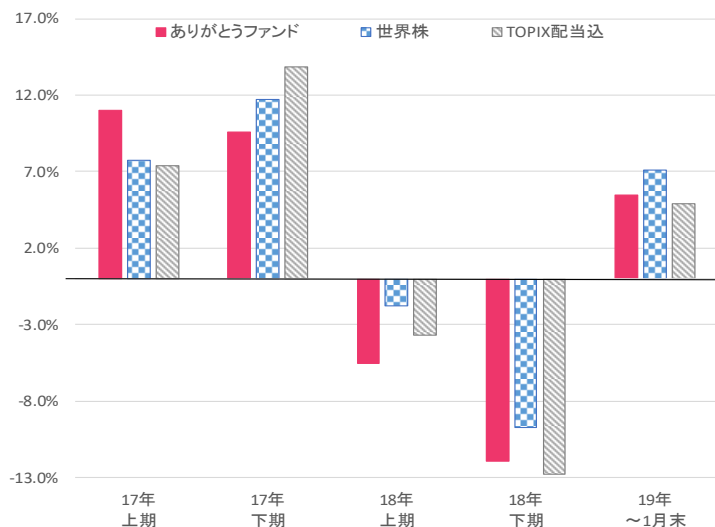
※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

◆値動きの大きさの推移(250営業日リスク推移)



※**値動きの大きさの推移**について:設定来の日次リターンを基に過去250営業日のリスク(日次リターンの標準偏差の年率換算値)の推移を表したものです。簡単に説明すると、数値が高いほど日々の値動きの幅が大きいことを表し、逆に数値が低いほど日々の値動きの幅が小さいことを表します。ありがとうファンドは値動きの幅を低位に抑える運用を心掛けています。

◆騰落率比較(2017年年初～)



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◆直近のマーケット動向について



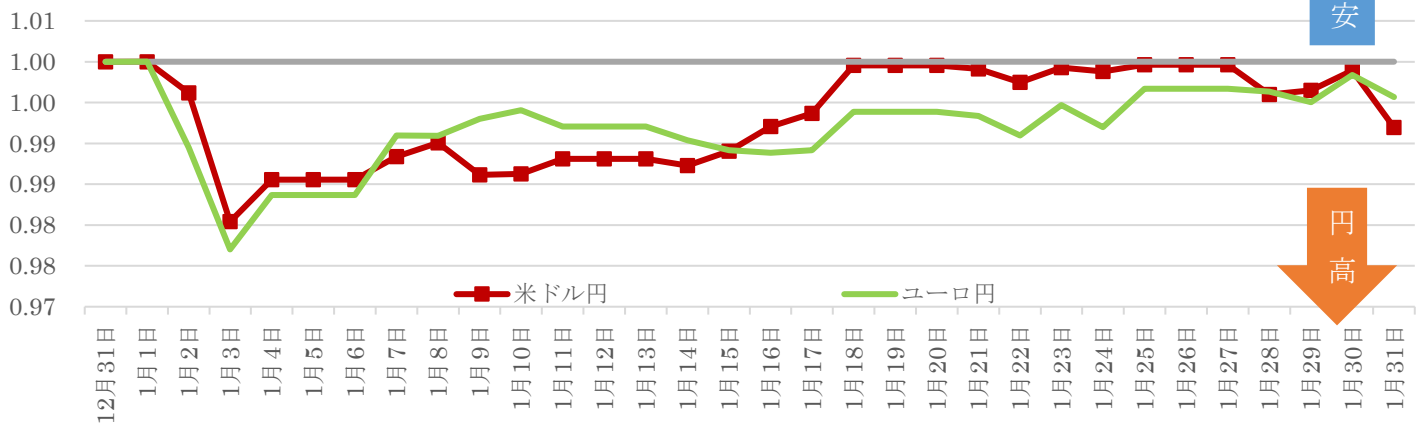
1月のマーケットはどうだったの？

ニュースではアメリカの政府機関の一部が長い間閉鎖したって言うんだけど…。

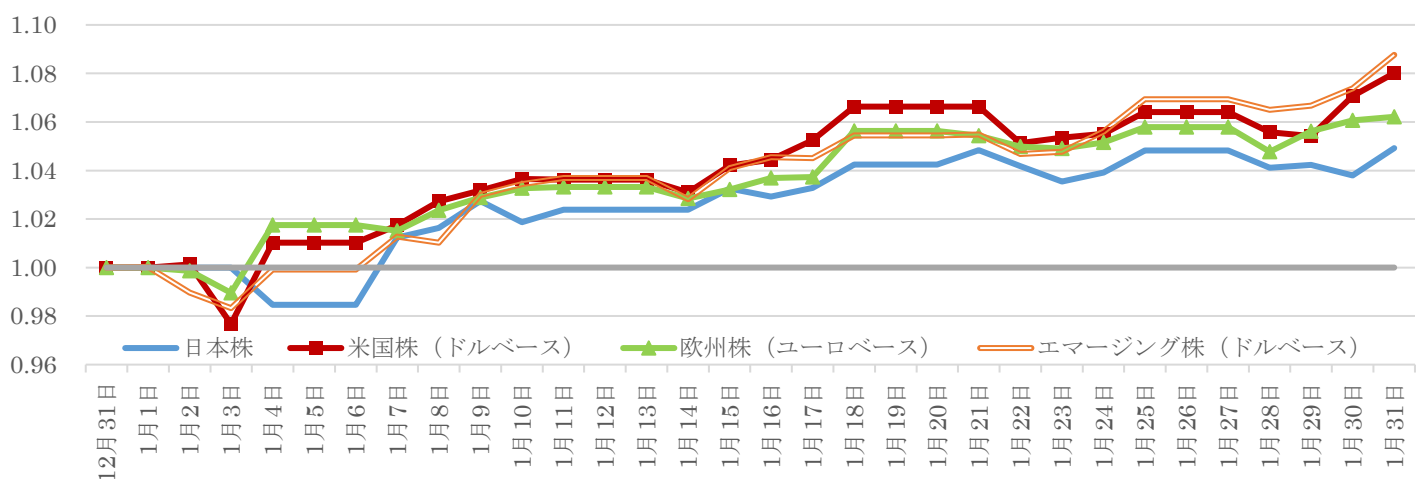


1月のマーケットの動きですが、大幅安となった前月から過度な悲観が後退して、世界株式市場は上昇した1ヶ月になりました。序盤は中国や米国の景況感を示す各種経済指標が発表されましたが、前月に続き悪化したことから景気後退懸念がさらに強まり、世界株式市場は低調なスタートになりました。また、アップルが中国の景気悪化を主因として、1～3月のiPhone販売見通しを下方修正したことも市場心理を冷やしました。一方中盤では、米中通商協議が楽観ムードで終了したことを受け、景気悪化懸念が後退し、世界株式市場は上昇基調で推移しました。後半では、1ヶ月以上続いていた米国の政府機関閉鎖がひとまず解除されることになったこと、米国の金融政策についてパウエルFRB議長等が政策運営に対して柔軟な姿勢を示したことなどが好感され、上昇基調が続きました。

【米ドル円、ユーロ円推移】2018年12月31日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2018年12月31日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(使用している指数についてはレポート最終ページの注記を確認ください。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照していただくと、今月は昨年大きく売られていたエマージング株式市場が相対的に上昇したのがご確認いただけると思います。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

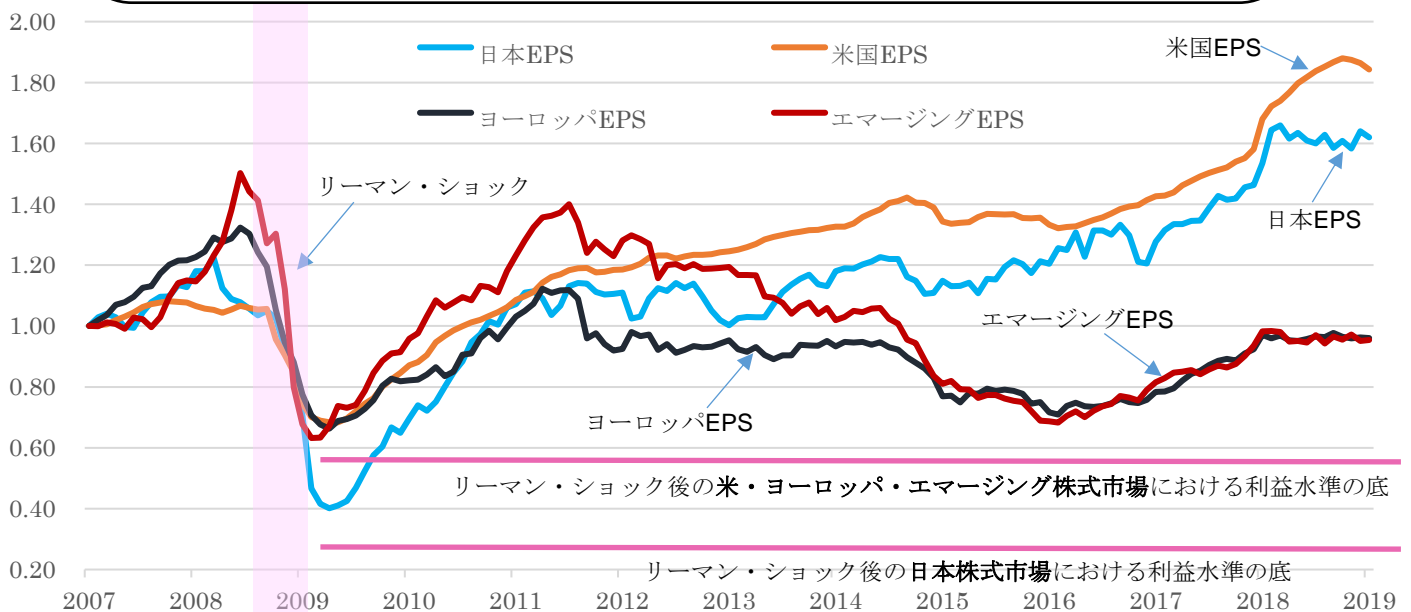
ありがとうファンドの1月間騰落率は5.5%の上昇となりました。今月は、前月からの過度な悲観が後退して買戻しが進んだ1ヶ月になりましたが、相対的に日本株式市場への買戻しは低位で、ありがとうファンドでは日本株の保有割合が比較的低位だったこと、また相対的にパフォーマンスの良かったエマージング株式市場を投資対象とするファンドの保有割合が多かったことなどから、TOPIX 配当込み(+4.9%)に対してはアウトパフォームしましたが、世界株の株価指数(+7.1%)に対しては出遅れる結果になりました

1月中の売買状況については、キャピタルICAファンドを一部売却しました。



今後の見通しについてはどうなっているのかね？教えてもらえないだろうか。

今後の見通しについては、各種地政学リスクなど一過性のイベントはあるものの世界経済は引き続きリーマン・ショックからの回復・成長が続くと考えています。ファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長がより注視される市場になるでしょう。下図ではリーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元は減税政策の影響などで米国市場の堅調さが目立ちますが、中長期的には今まで低迷していたエマージング市場とヨーロッパ市場の伸びしろは大きいと考えています。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化し2019年1月末までの推移

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

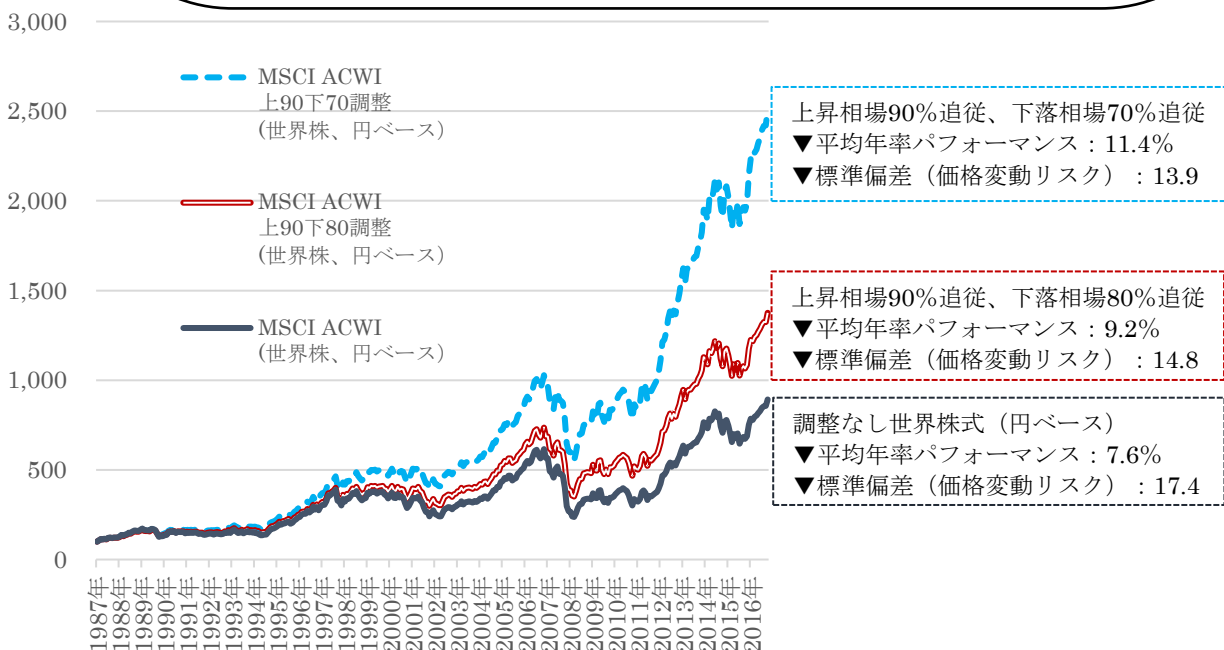
このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針についてはどうなっているのかしら。教えてちょうだい。

株式市場という観点から足元の状況を考えると、リーマン・ショック後各国・地域は量的緩和などの金融緩和で各々の経済・市場を支え世界的にカネ余りの状況が続いています。リターンを求めてやや過熱感のある市場も出てきました。このような環境下では一つの市場だけに投資することはリスクが高く、特定の市場に過度に偏ることなく幅広く分散投資することにより長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。ありがとうファンドでは、世界経済の成長をグローバル市場で競争力のある企業の成長に沿った形で享受できるよう、国際分散・厳選・長期投資を継続していきます。

アクティブファンドという上昇局面で大きく稼ぐといった様な派手なイメージが強いと思いますが、ありがとうファンドでは上昇局面で無理に上値を狙うといった運用よりは市場全体が下落する局面にて市場相対で下げ幅を抑制することにより結果的に長期で安定したパフォーマンスを提供できると考えております。その源泉としては、①実績のある投資先ファンドによる成長企業の厳選、②国・地域別資産配分の見直し・調整、③金ETFなど株式市場と相関が低い資産を組み入れることによる資産分散を主に考えております。下図はあくまでも参考までですが、上昇局面では90%ほど市場に追従し、下落局面では下落幅を抑制した場合のバックテスト例になります。ダウンサイドリスクを抑制することにより、長期で価格変動リスクを抑えながら運用パフォーマンスを向上できたことが確認いただけると思います。



パフォーマンス

価格変動リスク

出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、株価は1987年年初を100として指数化し2017年9月末までの推移

注：上昇・下落局面は月次騰落率ベースで判断。平均年率パフォーマンスと標準偏差についても月次ベースのデータから計算

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

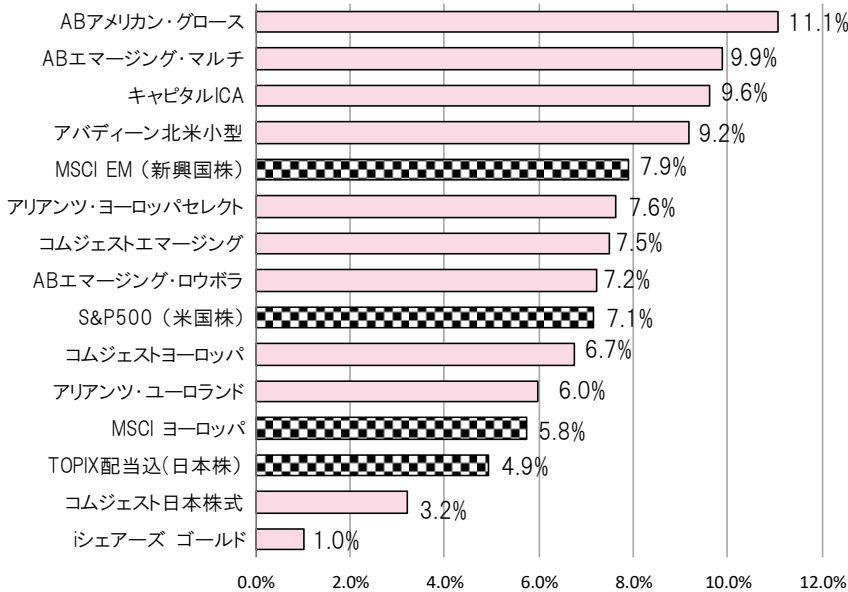


投資先ファンドの状況についても気になる！教えて！教えて！

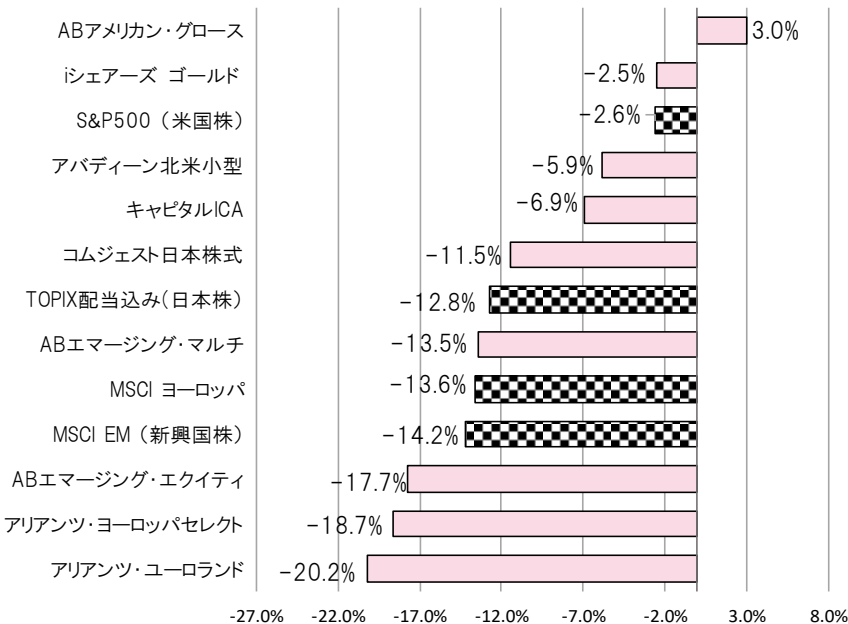


まずは、投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2019年1月末時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセツトよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

月間騰落率については、米国株式市場を主な投資対象としている3ファンド(ABアメリカン・グローース、キャピタルICA、アパディーン北米小型)、ヨーロッパ株式市場を主な投資対象としている3ファンド(アリアンツ・ヨーロッパセレクト、コムジェスト・ヨーロッパ、アリアンツ・ユーロランド)、エマーシング株式市場を主な投資対象としているABエマーシング・マルチファンドがそれぞれの国・地域参考指数(円ベース)に対し好調なパフォーマンスを実現しました。

先月は日経平均株価が1,000円以上下げた日もあり、月間を通して大きく下げた月でした。一方今月は過度な悲観が後退して、買い戻され緩やかに上昇する1ヶ月になりました。先月の同じページの月間騰落率と今月のこのページの月間騰落率を比べてみると、この点がはっきりご確認いただけたと思います。国際分散投資で長期に資産形成を目指すありがとうファンドでは、短期的な相場に一喜一憂せず、時間分散を粛々と実践することで、短期的にはデコボコする市場環境においても、長期的にはなだらかなパフォーマンスを享受いただけたと考えております。

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



◆投資先ファンドの運用パフォーマンス

#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジエスト日本株式	日本	7.0%	+3.2%	▲2.9%	▲11.5%	▲11.5%			
	TOPIX 配当込み			+4.9%	▲4.6%	▲9.7%	▲12.8%	+16.8%	+42.5%	+7.3%
2	ABアメリカン・グローブ	米国	11.3%	+11.1%	▲0.8%	▲2.8%	+3.0%	+42.5%	+105.3%	+15.5%
3	キャピタルICA	米国	2.4%	+9.6%	▲3.9%	▲8.2%	▲6.9%			
4	アパティーン北米小型	米国	9.1%	+9.2%	▲4.1%	▲8.7%	▲5.9%	+25.3%	+66.4%	+10.7%
	S&P500 (米国、円)			+7.1%	▲3.3%	▲5.7%	▲2.6%	+33.2%	+79.5%	+12.4%
5	コムジエスト ヨーロッパ	欧州	2.0%	+6.7%	▲5.0%	▲12.8%				
6	アリアンツ・ユーロランド グローブ	欧州	15.0%	+6.0%	▲5.7%	▲17.9%	▲20.2%	+6.4%	+29.1%	+5.2%
7	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	12.3%	+7.6%	▲5.4%	▲17.6%	▲18.7%	+3.3%	+29.9%	+5.4%
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+5.8%	▲2.8%	▲11.7%	▲13.6%	+11.2%	+18.1%	+3.4%
8	コムジエスト エマージング	エマージング	2.4%	+7.5%	+5.2%	▲5.9%				
9	ABエマージング ロウボラ・エクイティ	エマージング	20.3%	+7.2%	+1.9%	▲7.3%	▲17.7%	+15.3%		
10	ABエマージング マルチ	エマージング	11.1%	+9.9%	+5.0%	▲3.6%	▲13.5%	+17.8%	+36.4%	+6.4%
	MSCI EM (新興国株、円)			+7.9%	+6.4%	▲5.2%	▲14.2%	+37.8%	+37.2%	+6.5%
11	シェアーズ ゴールド・ トラスト	金ETF	1.8%	+1.0%	+4.4%	+4.7%	▲2.5%	+5.4%	+11.8%	+2.2%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

積立投資のメリット



◆取得単価を平準化

◆時間分散でリスクを低減

◆長期で投資を継続しやすい

◆各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジスト日本株式ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄				1月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.5%	
2 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	3.4%	
3 ドンキホーテホールディングス	日本	一般消費財・サービス	首都圏を中心にディスカウントストアを運営。主に家電製品、日用雑貨、食品、時計、ファッション用品、スポーツレジャー用品を販売。	3.4%	
4 ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	大手化粧品会社グループ。高級スキンケア中心のポーラ、オイルカット(無油分)コンセプトに基づく中価格帯スキンケア中心のオルビスを主軸に、複数ブランドを展開する。	3.2%	
5 ダイワク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	3.2%	

◎コムジスト・ヨーロッパ・ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄				1月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 アマデウスITグループ	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.0%	
2 エシロールインターナショナル	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.4%	
3 コロプラスト	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、スポーツメーカー製品に強み	4.6%	
4 インディテックス	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッションアパレルのリーディングカンパニーの一つ	4.3%	
5 ストロマン・ホールディング	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー。顎骨に埋め込み、抜歯のあとに義歯を取り付けるための台となる金属デバイスを製造。欧州と北米全域に子会社を保有し、世界中で製品を販売する。	4.1%	

◎コムジスト・エマージングマーケット・ファンド

マザーファンド株式組入上位5銘柄				1月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ピンアン・インシュアランス(中国平安保険)	中国	金融	生命保険、損害保険、銀行、証券等の事業を手掛ける中国の金融機関。	5.4%	
2 台湾セミコンダクター(TSMC)	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	4.3%	
3 コグニザント・テクノロジー・ソリューションズ	アメリカ	情報技術	情報技術(IT)、コンサルティング、ビジネスプロセス・アウトソーシングの各サービスを提供する。	3.5%	
4 バイドゥ(百度)	中国	コミュニケーションサービス	インターネット検索(サーチ)エンジン「百度baidu.com」を運営。インターネット検索ソリューション、オンライン・マーケティング・ソリューションを手掛けるほか、オンライン決済プラットフォームも提供する。	3.3%	
5 サンラム	南アフリカ	金融	保険、ファイナンシャルプランニング、退職プラン、信託、遺言執行、短期保険、資産運用、リスク管理、資本市場活動、投資、資産などの分野に従事。	3.3%	



弊社はありがとうファンド1つのみ!

お客様のペースに併せて

長期でじっくりお客様の資産を育てていきます



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA) 12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	6.2%
2 MICROSOFT	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	4.2%
3 ALPHABET	アメリカ	コミュニケーションサービス	Googleの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるGoogleのメイン事業(Google事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	3.9%
4 FACEBOOK	アメリカ	コミュニケーションサービス	SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	3.6%
5 ABBOT LABORATORIES	アメリカ	ヘルスケア	多様な製品の研究、開発、製造、販売およびサービスを幅広く手掛ける。製品は、医薬品、診断用製品、医療機器、栄養食品など。関連会社と販売代理店を通じて世界各地で製品を販売する。	2.8%

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース 12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 ALPHABET, INC.	アメリカ	コミュニケーションサービス	Googleの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるGoogleのメイン事業(Google事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	8.4%
2 VISA, INC. Class A	アメリカ	情報技術	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速度かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.0%
3 MICROSOFT CORP.	アメリカ	情報技術	Windowsに代表される基本ソフト(OS)を開発し、各種デバイス(PCやタブレット)、サーバ、携帯電話、インテリジェントデバイス向けに提供。また、パソコン、タブレット、携帯電話、ゲーム機などの製品も開発、販売している。	4.8%
4 UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.4%
5 MONSTER BEVERAGE CORP.	アメリカ	生活必需品	ビタミン、ミネラル、ハーブなどを含む栄養ドリンク「モンスター・エナジー」を生産(同ブランドの売上比率は9割超)。外部のボトラーに製造を委託し、契約先の流通業者に販売を担当させる。	4.2%

◎アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・ロウ・ボラティリティ・エクイティ 12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 TSMC	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	4.7%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	4.1%
3 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	コミュニケーションサービス	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	3.9%
4 CHINA MOBILE LTD.	中国	コミュニケーションサービス	通信サービス会社。固定電話、ブロードバンド、ローミング、その他関連サービスを提供。香港で事業を展開。	3.3%
5 NESTLE SA(REG)	スイス	生活必需品	多国籍食品加工会社。広範囲にわたる食品の製造・販売を手掛ける。製品は、ミルク、チョコレート、菓子類、飲料水、コーヒー、クリーム、調味料、ペットフードなど。	3.0%

◎アライアンス・バーンスタイン・エマージング・マーケット・マルチアセット 12月31日時点

銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率
1 ALIBABA GROUP HOLDING LTD.	中国	一般消費財	インターネット・インフラ、eコマース、オンライン金融、インターネット・コンテンツなどのサービスを提供する。世界各国で製品およびサービスを提供。	3.0%
2 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	2.9%
3 TENCENT HOLDINGS LTD.	中国	コミュニケーションサービス	中国のインターネットサービス会社の大手。ソーシャルプラットフォームを運営するほか、デジタルコンテンツサービスを提供する。VAS(付加価値サービス)、インターネット広告、その他の3セグメントで事業を展開。	2.7%
4 CHINA PETROLEUM & CHEMICAL CORP	中国	エネルギー	石油・石油化学製品の精製、生産、販売会社。ガソリン、ディーゼル、ジェット燃料、灯油、エチレン、合成繊維、合成ゴム、合成樹脂、化学肥料を提供する。中国で事業を展開。	2.1%
5 LUKOIL PJSC	ロシア	エネルギー	ロシア最大級の石油会社。石油の探鉱、生産、精製、マーケティング、流通に従事している。	1.8%

◎アリアンツ・ユーロランド・エクイティ・グロース 12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	6.7%
2 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	4.7%
3 ASML HOLDING NV	オランダ	情報技術	半導体業界向けのリソグラフィシステムの製造、取引を手がけるほか、集積回路やチップの製造に使用される装置を開発する。	4.5%
4 LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	フランス	一般消費財	LVMHモエ・ヘネシー・ヴイトン(LVMH Moet Hennessy Louis Vuitton SE)は、多角化した高級品のグループ。ワインやコニャックなどの酒類をはじめ、香水、化粧品、旅行かばん、時計・宝石類の製造・販売を手掛ける。	4.4%
5 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じた事業を展開。	4.1%

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト 12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業。数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	7.4%
2 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る。	5.7%
3 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じた事業を展開。	5.1%
4 RECKITT BENCKISER GROUP PLC	イギリス	生活必需品	家庭用品、ヘルスケア・パーソナルケア用品を製造・販売。地域別のセグメントは、欧州・北米・中南米・北アジア、東南アジア・オーストラリア・ニュージーランド、ロシア・OIS、中東、北アフリカ、サハラ砂漠以南のアフリカなどがある。	4.8%
5 PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融	保険と金融サービスを手がける持株会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行う国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品・サービスと資産運用サービスを提供する。	4.4%

◎アバディーン・グローバル・ノースアメリカン・スモアラーカンパニー・ファンド 12月31日時点

銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1 CASELLA WASTE SYSTEMS INC	アメリカ	資本財	廃棄物処理会社。米国東部で固形無害廃棄物の総合処理サービスを手掛ける。廃棄物の収集、運搬、処理、リサイクルサービスを提供し、リサイクル物質を利用して蒸気や最終製品を製造する。	2.7%
2 PAYLOCITY HOLDING CORP	アメリカ	情報技術	クラウドベースの給与・人材管理会社。中規模機関向けのソフトウェア・ソリューションであるHCMも提供する。	2.7%
3 GLACIER BANCORP INC	アメリカ	金融	銀行持株会社。複数の銀行を通じて、一般預金業務や法人および個人への多様な融資業務を手掛ける。	2.6%
4 WSFS FINANCIAL CORP	アメリカ	金融	主要子会社であるWilmington Savings Fund Society, FSBを通じ、米国デラウェア州のニューキャッスル郡やドーバー市のほか、ペンシルベニア州のチェスター、デラウェア、モンゴメリーの各郡にある店舗網を運営。	2.6%
5 EMERGENT BIOSOLUTIONS INC	アメリカ	ヘルスケア	グローバルな特殊バイオ医薬品メーカー。生物学的・化学的育成や新興感染症の医療対策の製品ポートフォリオを開発、製造、提供する。病院、診療所向けに治療法やその他特殊製品の開発・商品化も手掛ける。	2.5%

◆ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972% (税抜 0.9%) の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6% ± 0.2% (概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒101-0047 東京都千代田区内神田 2-15-9 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】 騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。

TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

※資料に記載されている各国・地域市場の指数は他に断りの無い限り以下の指数を使用しています。

【日本株】→TOPIX配当込み

【世界株】→MSCI オール・カンントリー・ワールド・インデックステータルリターン

【米国株】→S&P500 トータルリターン

【欧州株】→MSCI ヨーロッパ トータルリターン

【エマージング株】→MSCI エマージング トータルリターン



■R&I ファンド大賞について

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。